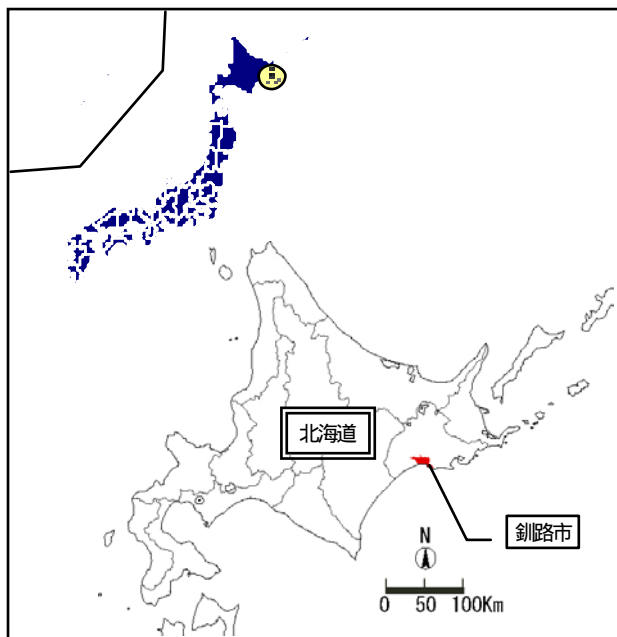


音楽とスポーツで若者が集うみなとまちづくり(釧路港)



地域の現状



【釧路港の全景】

釧路港 (重要港湾)

港湾管理者：釧路市

取組実施市町村：北海道釧路市

人口：約 191 千人 (平成 14 年)

観光客数：約 255 万人 (平成 16 年度 釧路市調べ)

東北海道の生活を支える「みなと」と大湿原を有する大地

釧路港は、17 世紀中頃当時クスリと呼ばれていたこの地で、松前藩がアイヌとの交易所を開設したのが始まりとされる。

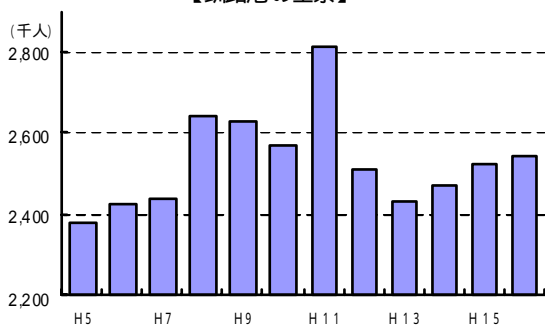
明治 23 年に昆布や硫黄を輸出する特別輸出港となり、明治 32 年には釧路港は普通貿易港として開港した。釧路港は東北海道一円を勢力圏とし、その面積は北海道の 43% を占め、関東 7 都県を上回るものとなっている。この広大な勢力圏の港湾取扱貨物量の約 9 割を扱い、釧路港が東北海道の産業発展や住民生活の安定に大きな役割を担っている。

釧路市の背後に広がる釧路湿原は日本最大の湿原で、多くの観光客が訪れており、1980 年 6 月「ラムサール条約」の国内初の登録湿地に、1987 年 7 月には国立公園に指定されている。

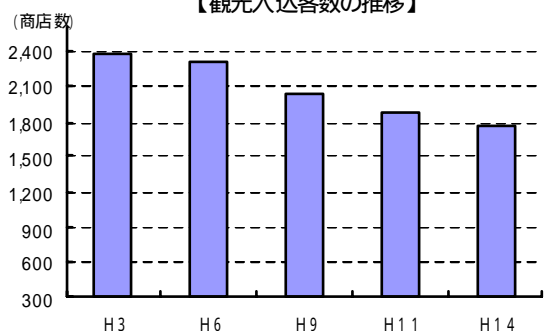
地域の課題

近年、郊外型大型商業施設の立地が相次ぎ、中心市街地の空洞化が顕著となっており、再び賑わいを取り戻すことが必要となっている。

東北海道観光の玄関口として旅客船及び海外チャーター便の増加などにより、観光客数は増加しているが通過型が多く、これを滞在型観光へ転換していくことが必要である。



【観光入込客数の推移】



【商店数の推移】

音楽とスポーツで若者が集うみなとまちづくり(釧路港)



【MOO(左)とEGG(右)】



【EGG内】



【釧路ストリートスポーツパーク】



【幸町緑地】

みなとまちづくりの目標

音楽とスポーツで若者の集うみなとまちづくり

中心市街地に隣接し観光拠点となっているフィッシャーマンズワフ MOO 周辺地区でのコンサート、イベントの開催やストリートスポーツパーク利用促進により、一般市民や若者の港への来訪を増やし、中心市街地への人の流れを誘導することで、港と地域の賑わいの創出を目指している。

全天候型港湾緑地 EGG では、数々のコンサートが催され“知らない音色に出会えるみなと”の中心となっている。

活用したみなとの資産

全天候型緑地 EGG = Ever Green Garden

『いつも緑の園』の頭文字を取った造語。冬が長い釧路市において、文字通り、1年を通して花と緑、太陽と水辺に憩うスペースとして、市民に広く親しまれ、数々の音楽イベントが催されている。釧路フィッシャーマンズワフ MOO とともに、平成元年にオープンしており、釧路ウォーターフロントのシンボル。

釧路ストリートスポーツパーク

釧路川に面する広場に作られ、スケートボード、インラインスケート、BMX、ストリートバスケットができる。平成16年7月にオープン。

幸町緑地

港まつりや氷まつり等で繰り広げられるイベントの会場として市民に親しまれている。

音楽とスポーツで若者が集うみなとまちづくり(釧路港)

第3セクター

(株)釧路河畔開発公社

- ・EGG コンサートなどの利用受付
- ・広報 PR

支援・協力

釧路市(港湾管理者)

- ・会場の管理
- ・設営補助

【EGG コンサートの取組体制】



【EGG コンサート】



【スポーツパークでの3 on3 バスケット】



【幸町緑地でのコンサート】

音楽とスポーツで賑わうみなとまちづくり

EGG コンサートの開催

取組体制

取り組みにあたっては、隣接する MOO の管理運営を行っている第3セクターの(株)釧路河畔開発公社が、コンサートの利用受付や広報 PR を行い、コンサート実施時には、会場設営等、釧路市が支援・協力している。

取組概要

市民に対して全天候型緑地 EGG でのさまざまな催しを募集し、市民活動の場としての取り組みを実施した。

- 実施日：平成16年4月から17年2月末(29回開催)
 実績：コンサート23回、美術展1回、絵本朗読1回
 人形劇1回、園芸市1回、フリーマーケット1回
 絵手紙教室1回
 場所：全天候型緑地 EGG
 出演者数：約190人 / 来訪者数：約2,900人

イベントへの関心の高さは集客効果への期待

取組の成果

- 平成16年4月から平成17年2月末までの間に、音楽愛好家によるコンサートを中心に約30回(コンサート23回他)開催され、延べ約2,900人の来訪者があった。

「みなとで遊ぼう in 釧路2004」の開催

取組体制

取り組みにあたっては、賑わいのみなとまちづくり懇談会が主体となって企画・運営を行い、行政(国、市)の支援・協力により実施した。

賑わいのみなとまちづくり懇談会

【構成】

- ・市民8人
- ・釧路市港湾部職員3人
- ・釧路開発建設部(国、オブザーバー)

【取り組み内容】

- ・各種イベントの企画・運営
- ・くしろ Port Cup(釧路ストリートスポーツパーク)
- ・くしろポートコンサート(幸町緑地)
- ・出前みなと資料館(釧路市観光国際交流センター)

支援・協力

支援・協力

釧路市(港湾管理者)

- ・広報 PR(HPで紹介、地元 FM 局で紹介と募集案内)
- ・会場設営

釧路ストリートスポーツパークサポーターズ

- ・企画・運営
- ・参加

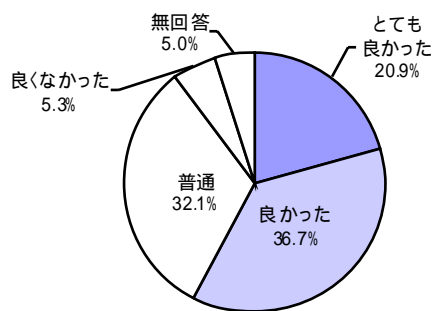
釧路開発建設部(国)

- ・アンケート調査
- ・各種資料提供

音楽とスポーツで若者が集うみなとまちづくり(釧路港)

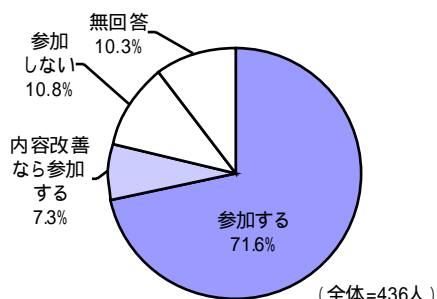


【出前みなと資料館】



(全体=436人)

【イベントの評価】



(全体=436人)

【再参加の意向】

取組概要

釧路港東港区の隣接する3施設を活用し、ジャンルの異なるイベントを同時に開催して連携し、「みなと空間でのスポーツと音楽と歴史のトライアングル」を目指した。

実施日：平成16年10月17日

来訪者数：約800人

釧路ストリートスポーツパーク

市内の教育機関やスポーツ店での参加申込者の掲示、地元FM局での募集による「くしろPort Cup」としてスケートボードと3on3バスケットの競技会とストリートダンスの発表会

(参加者)

3on3バスケット：15チーム、55名

スケートボード：36名

ストリートダンス：12名

幸町緑地

音楽関係団体に参加依頼した6バンドによるロックやヒップホップの「くしろポートコンサート」

釧路市観光国際交流センター

「出前みなと資料館」として昭和から平成に至るみなと祭りのポスターと釧路港築港の歴史資料の展示

イベントへの関心の高さは集客効果への期待

取組の成果

- 釧路ストリートスポーツパーク内及び幸町緑地周辺で行ったアンケート調査結果では、ストリートスポーツパークのイベントは他のイベントに比べ、女性と40才代以上の人気が高く、集客効果が期待できる。
- 多様なイベント内容や港のそばの会場の雰囲気は評価が高く、また、再訪意欲も高かったが、会場の案内が不足休憩できる施設が少なく、開催時期が悪いなどの指摘もあった。
- イベントを知った手段は半数が「知人から聞いて知った」であり、事前の広報PRが課題となる。
- 企画・運営への参加意向は「参加してみたい」「興味はある」を合わせると8割に達し、関心の高さが確認できた。

今後のみなとまちづくりの取り組みへ

全天候型緑地 EGG の多目的活用の検討

引き続き、市と株釧路可畔開発公社が最小限のサポートを行い、市民が自主的に活動の場として活用する。コンサートだけでなく、他の市民活動の発表の場としてもPRしていく。

市民が憩え、賑わうみなとまちづくり

懇談会で、これまでの議論や取り組みを通じて、地域の目指すべき姿をとりまとめ、実現に向け議論を進めていく。